

## 第11回環日本海環境協力会議（NEAC）参加報告

第11回環日本海環境協力会議に、学会から派遣されましたので御報告いたします。今回は、シンポジウム・テーマが「環境教育と環境意識啓発」ということで、日本環境教育フォーラムの岡島成行氏とともに筆者が参加しました。本会議において環境教育は初めて取り上げられたテーマでしたが、各国とも水や大気の深刻な状況に関する取り組みの発表がありました。

**目的：**北東アジア地域各国の環境専門家による情報交換及び政策対話の場として、同地域の環境協力のあり方について議論を深める。

**参加国：**日本、中国、韓国、モンゴル、ロシアの5カ国。

**参加者：**中国政府の環境担当機関、各国政府及び地方自治体、研究機関等の専門家、NGO。また、国際機関であるUNEP（国連環境計画、バンコク）からも専門家がオブザーバーとして参加。

**背景：**昭和63年以降、韓国の提案に基づき日韓環境シンポジウムが開催されてきた。この会議に中国がUNEPの協力を得て参加し、さらにソ連（当時）とモンゴルがオブザーバーとして出席したことから、北東アジア各国による情報交換及び地域協力の発展としての可能性が検討されることとなった。平成4年からは、「環日本海環境協力会議」として、この地域の環境問題に関する情報交換及び政策対話を行う場として毎年開催している。

**日程：**12月4日（水） 中国海南島

12月5日（木） 開会

基調講演 “ Introducing major progress on environmental polities of each countries ”

シンポジウム “ Environment Education and Public Environment Awareness  
（環境教育と環境意識啓発） ”

セッション ： “ Improvement of water Environment （水環境の改善） ”

12月6日（金）

セッション ： “ Air quality improbement in urban area （都市部における大気質の改善） ”

セッション ： “ WSSD Summit and NE Environmental Cooperation  
（ヨハネスブルグサミットと北東アジア環境協力） ”

全体会合（議長サマリーの採択等）・閉会

谷口文章(たにくち ふみあき)